強盗想定、対応を確認

東濃信金 広小路支店で訓練

多治見市広小路の東濃信用金庫広小路支店で12日、強盗対応訓練が行われ、職員が本番さながらの訓練に取り組んだ。

年末を前に同金庫が多治見署に依頼し、毎年多治見ブロックの1店舗で実施している。今回は支店職員に加え、同ブロックの支店長らも見学するなど約30人が参加。同署員が扮(ふん)した強盗犯2人組が拳銃を持って店内に押し入り、職員を脅して現金を奪って車で逃走したという想定で行われた。

職員は非常通報して現場を保存。犯人の人相、着衣、逃走車両の特徴をチェックシートに記入するなど冷静に対応した。

訓練後、同署員から「現金を渡すのに時間をかけ、チェックがよくできていたのは評価できる。日頃から声掛けや外回りをするなど、中に入られない店づくりも心掛けて」と講評があった。(松尾法尋)

訓練で強盗役の警察官に対応する職員＝多治見市広小路、東濃信用金庫広小路支店

無断複製・転載を禁じます